



## 東光寺の「鬼会」が 国の重要無形民俗文化財に

上万願寺町にある東光寺に伝わる厄払い行事「鬼会」が、1月20日(金)、国の重要無形民俗文化財に答申されました。「鬼」にまつわる同種の行事は、県内各地で行われていますが、国の文化財に認められるのは初めてのことです。

この鬼会は室町時代から伝わるといわれ、毎年1月8日に行われる豊作と厄よけを祈願する行事です。

袷に烏帽子姿の還暦の男性2人が鎌を手、「福太郎」と「福次郎」に扮し、田起しから種まき、田植え、収穫までを演じる「田遊び」の儀礼で五穀豊穡を願った後、上・下万願寺町から一人ずつ選ばれる42歳の厄年の男性が鬼に扮し、赤鬼はたいまつを、青鬼は矛を振り回しながら外陣を右回りに回ります。本堂の東西の廊下からそれぞれ6回の計12回出てきて行われますが、回数を重ねるごとに動作が激しくなり、7回目以降は拝殿内を縦横無尽に乱舞し、1年の災厄を追い払います。

このように田遊びの儀礼と結びついて大切に守り传承されているのは、全国でも他に例がなく、日本の民間信仰や年中行事の変遷をたどる上で貴重であると高く評価されました。

## まちの話題



# タウントップピックス

## ぼくたちわたしたちの町 マップで確認、みんなで守ろう!

昨年12月に見直された北条地区まちづくり協議会の「防災マップ」を使って1月18日(水)、同協議会防災・安全グループリーダーの福岡さんらの協力により、北条小3年生の皆さんが防災体験学習を行いました。防災マップで紹介されている消火栓やホース格納庫の場所を歩いて直接確認したり、酒見寺多宝塔では文化財を守るための消火設備「放水銃」を消防署の協力により見学するなどして災害に対する備えの大切さを学びました。

## これぞ加西の特産品 特産品開発セミナー

1月25日(水)、アスティアかさいで特産品開発セミナーが開催され、昨年8月より受講者が試行錯誤の末に生み出した特産品試作品が発表されました。加西産の材料を用いて切干大根とゆずを使ったまんじゅう、いちごの形がそのまま残る新鮮なジャム、ベリーAを使った羊羹やゼリー、昔なつかしいげんこつ飴や蕎麦などバラエティ豊か! 今後は、地元の野菜が並ぶ愛菜館やそれぞれの販売所で順次販売される予定です。

## 毎年1月26日は、「文化財防火デー」 みんなで文化財を守りましょう

文化財防火デーの制定は、奈良県の法隆寺の金堂が炎上したことを契機としています。

52回目となる防火デーを前に、1月22日(日)、消防署・消防団・寺関係者と協力し、酒見寺多宝塔(北条町)及び法華山一乗寺三重の塔周辺において防火訓練が行われました。一乗寺では、三重の塔より出火し付近山林へ延焼中との想定のもと訓練開始。管理人は、自動火災報知器で火災発生を寺内に知らせると消防署へ119番通報し、消防署・消防団は消火活動訓練を行いました。

